

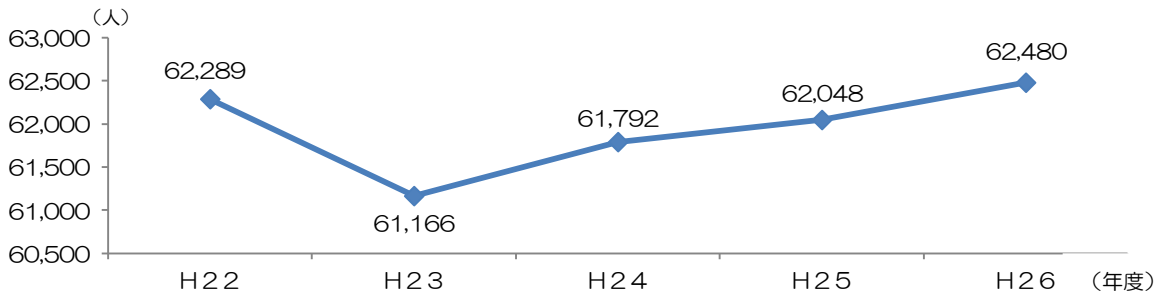
第2章 多賀城市の現状

1 人口・世帯数の推移

(1) 人口の推移

本市の人口は平成 26 年度末時点で 62,480 人となり、震災後増加しています。しかし、今後は少子高齢化が進み人口の減少が推測されています。

■人口の年次推移と推計



資料：多賀城市市民経済部市民課人口集計表

(2) 人口の移動率

本市は転入、転出といった移動者数が多い地域であり、移動率をみると県内市町村の中で最も高い順位が続いています。

■人口移動率と県内市町村順位

区分	移動率(%)	県内市町村の順位
平成 22 年	13.61	第 1 位
平成 23 年	14.59	第 1 位
平成 24 年	13.21	第 1 位
平成 25 年	13.38	第 1 位
平成 26 年	13.29	第 1 位

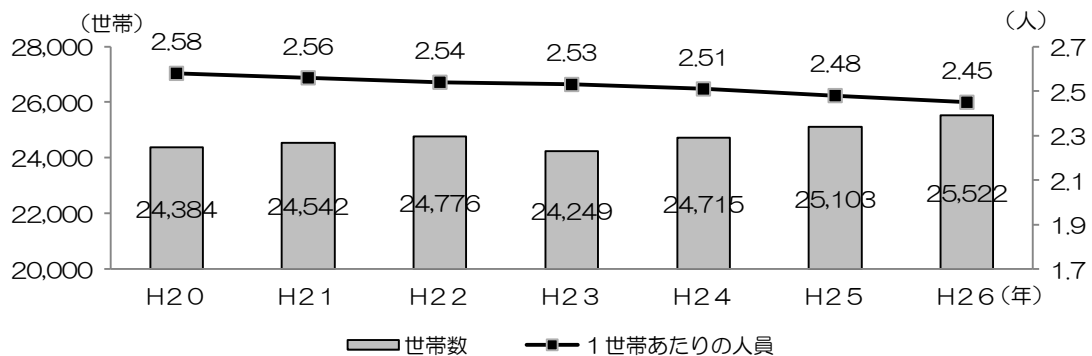
※移動率(%) = 移動者数 ÷ 当該年の 12 月末人

資料：宮城県震災復興・企画部統計課
「統計データ、住民基本台帳人口及び世帯数(年報)」

(3) 世帯の状況

本市の世帯数は、平成 26 年 12 月末日現在で 25,522 世帯となっています。年々増加傾向にあり、震災の影響で平成 23 年度に減少に転じましたが、再び増加傾向にあります。しかし、1 世帯あたりの人員は減少し続けており、核家族化あるいは一人暮らしの増加が影響していると考えられます。

■世帯数及び1世帯あたりの人員の推移

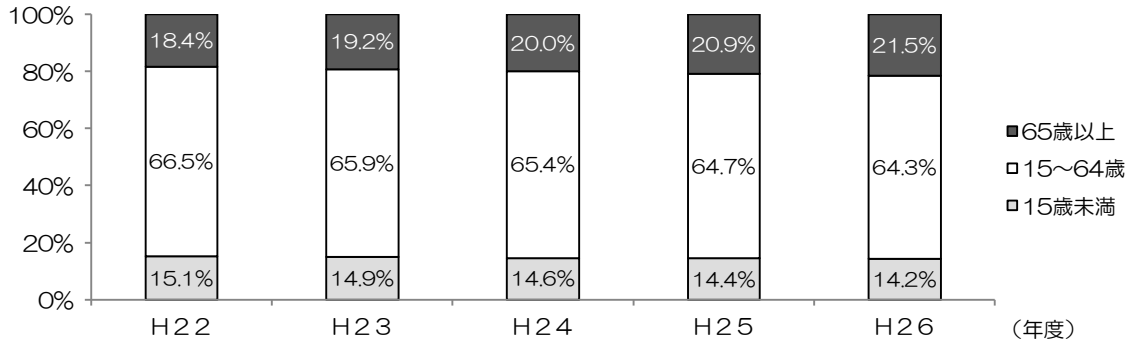


資料：多賀城市統計書

(4) 年齢3区分別人口割合

本市の65歳以上人口は年々増加傾向にあり、平成26年度末時点で21.5%に到達しています。また、15歳未満の人口は年々減少傾向にあり、本市においても、少子高齢化が進んでいる現状です。

■年齢3区分別人口割合の年次推移



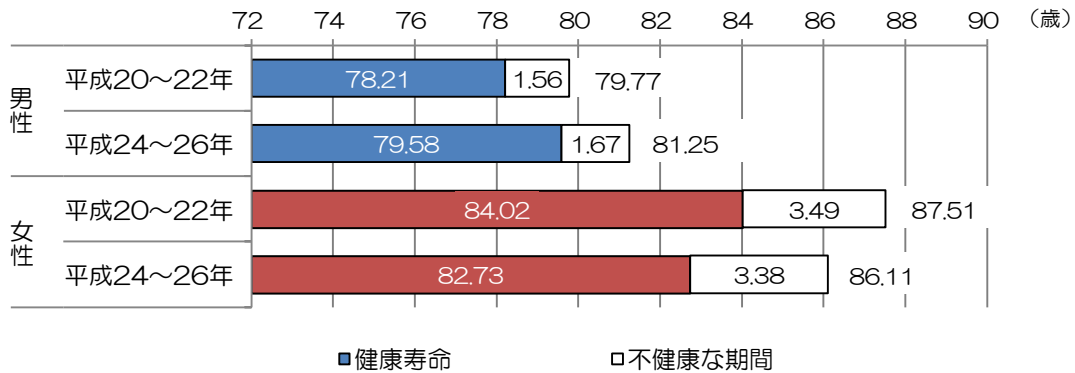
資料：多賀城市市民経済部市民課人口集計表

(5) 平均寿命と健康寿命の状況

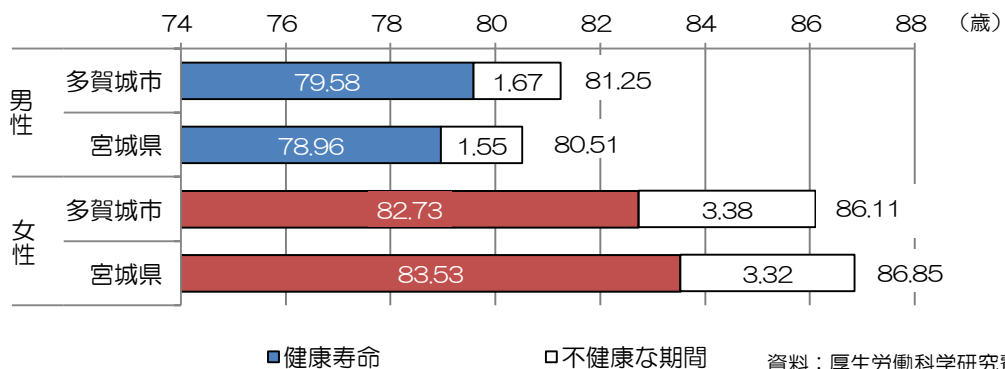
平成20~22年から平成24~26年にかけての推移では、平均寿命、健康寿命ともに男性は伸びていますが、女性は短くなっています。

平成24~26年の平均寿命と健康寿命を宮城県と比較すると、男性は平均寿命、健康寿命ともに宮城県より長く、女性はどちらも短くなっています。

■多賀城市健康寿命経年比較



■平成24~26年健康寿命比較



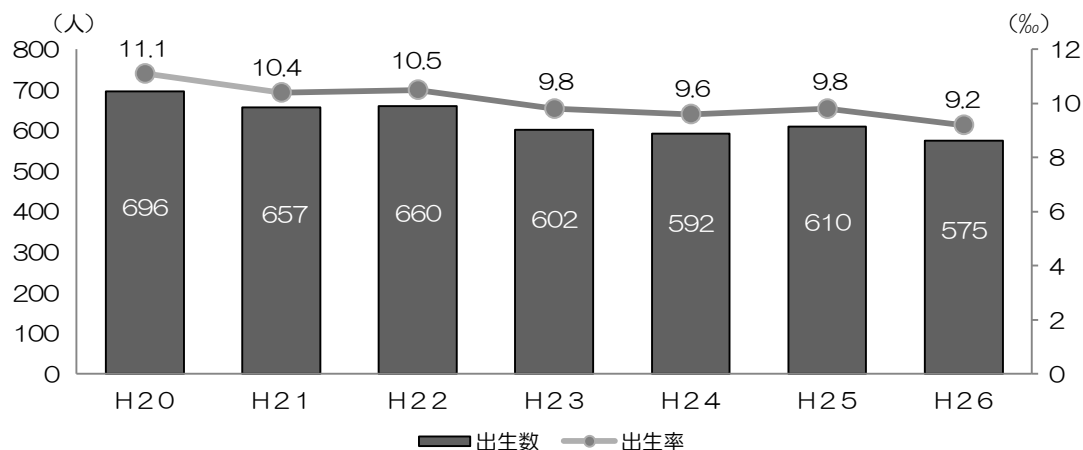
資料：厚生労働科学研究費補助金による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究の健康寿命の算定方法の指針により算定

2 出生・死亡の状況

(1) 出生数・出生率

出生数の推移をみると、平成 20 年の 696 人から平成 26 年には 575 人まで減少し、6 年間で 121 人(17.4%)減となっています。平成 25 年は前年に比べ増加しましたが、平成 26 年は 600 人を下回っています。

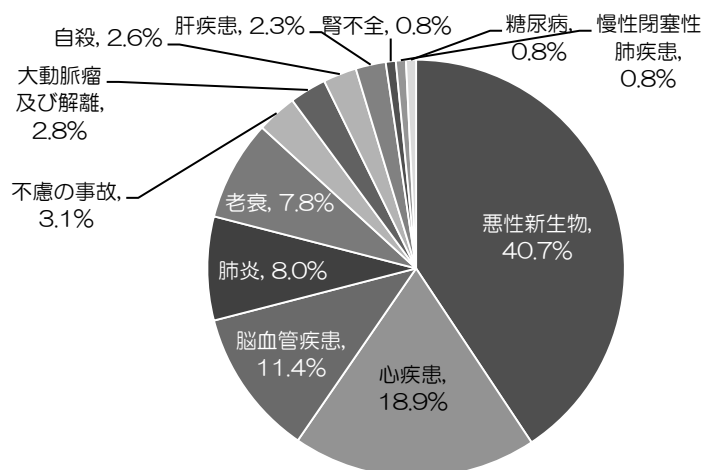
■出生数及び出生率（人口 1000 人あたりの出生数）の推移



資料：多賀城市統計書

(2) 原因別死亡者数の割合

平成 25 年では全国同様、多賀城市も死因の第 1 位は悪性新生物（がん）となっています。三大疾病*が全死亡の 7 割を占めています。



資料：多賀城市衛生統計

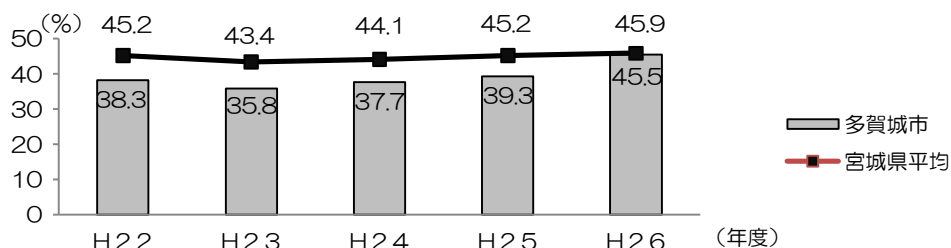
* P109~110 に用語説明があります。

3 各種健診の受診率等の状況

(1) 多賀城市国民健康保険特定健康診査の受診率

特定健診*受診率は平成 25 年度まで 40%未満であり、県平均受診率よりも低い状況でした。平成 26 年度は集団健診のほかに個別健診を導入し、45%を超える受診率となっています。

■多賀城市国民健康保険特定健診受診率年次推移

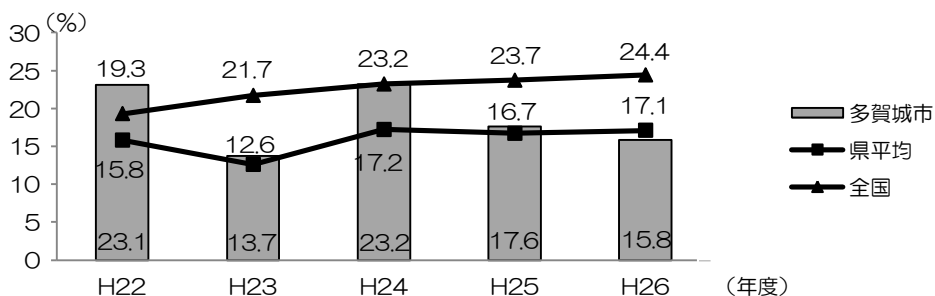


資料：特定健診・特定保健指導法定報告

(2) 多賀城市国民健康保険特定保健指導の実施率

特定保健指導*実施率は 20%前後で推移していましたが、平成 26 年度は 15.8%と、県平均、全国よりも低くなっています。

■多賀城市国民健康保険特定保健指導実施率年次推移

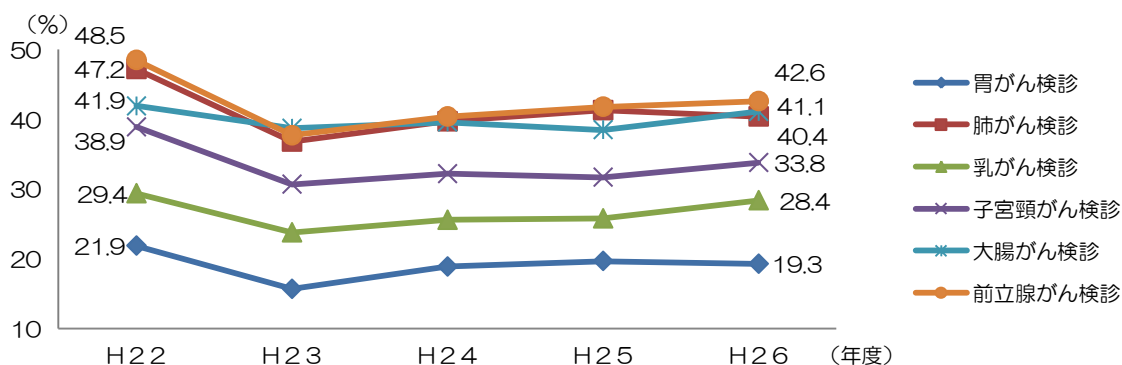


資料：特定健診・特定保健指導法定報告

(3) がん検診受診率

東日本大震災の影響により、平成 23 年度は全ての検診で受診率が落ち込みましたが、緩やかに回復してきています。

■多賀城市各種がん検診受診率推移



資料：多賀城市衛生統計

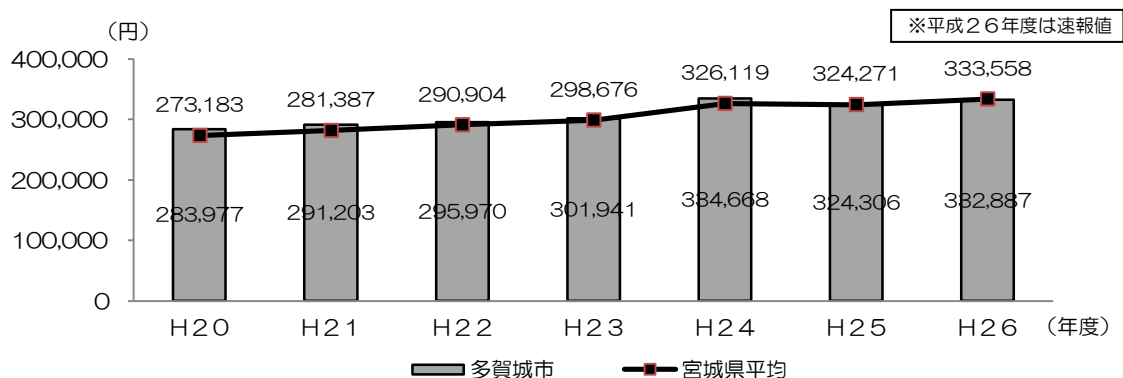
* P 109~110 に用語説明があります。

4 国保被保険者の医療費の状況

(1) 国民健康保険一人当たり医療費

多賀城市は県平均よりも若干、一人当たり医療費が高い状況にあり、平成 23 年度以降は 30 万円台で推移しています。

■国保一人当たり医療費

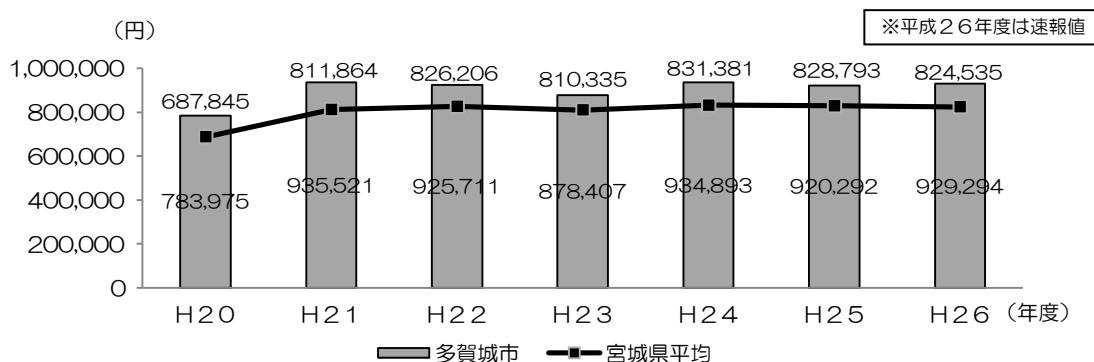


資料：宮城県保健福祉部国保医療課 国民健康保険・後期高齢者医療の概要

(2) 後期高齢者一人当たり医療費

多賀城市は県平均よりも一人当たり医療費が高い状況にあり、平成 21 年度以降は 80 万円台後半から 90 万円前半で推移しています。

■後期高齢一人当たり医療費



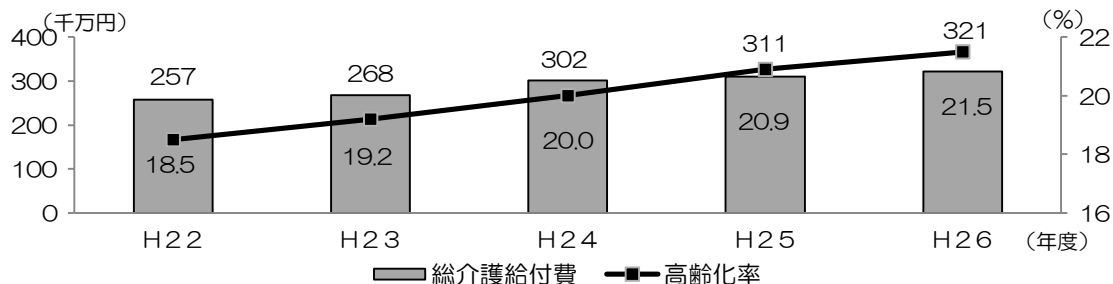
資料：宮城県保健福祉部国保医療課 国民健康保険・後期高齢者医療の概要

5 介護保険の状況

(1) 介護保険給付費と高齢化率の年次推移

総介護給付費は30億円を超え、高齢化の進展とともに上昇傾向にあります。

■総介護給付費年次推移

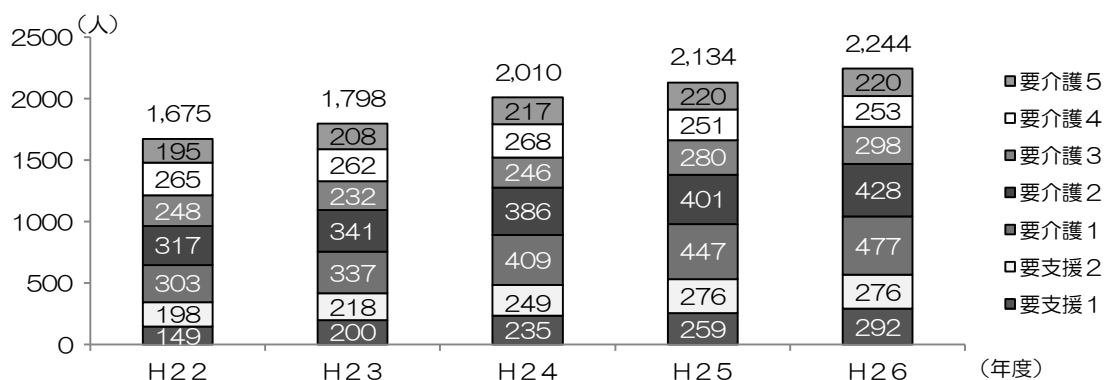


資料：多賀城市保健福祉部介護福祉課 主要な施策の成果

(2) 多賀城市要介護(支援)者認定状況

高齢者人口の増加とともに、要介護認定者数は年々増加しています。

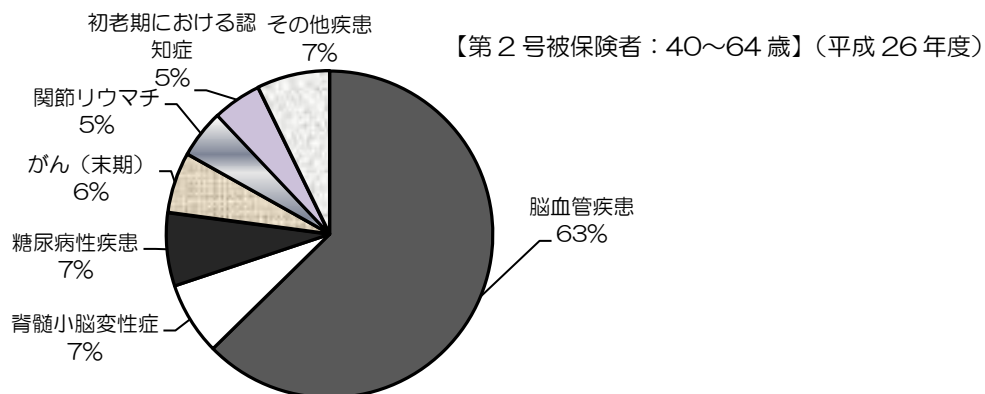
■要介護者等数の推移 (各年度平均)



資料：多賀城市保健福祉部「ふくし」(H27年度版)

(3) 多賀城市要介護認定の原因疾患

平成26年度介護保険第2号被保険者の要介護認定の原因疾患は、脳血管疾患によるものが6割を超えています。



資料：多賀城市要介護・要支援認定等審査判定数調べ